

宇都宮の伝統文化

二荒山神社の祭礼



二荒山神社
の神楽



菊水祭



堀米の
田楽舞



二荒山神社の神楽

宇都宮市指定無形文化財

二荒山神社の神楽は、太々神楽と呼ばれるもので、江戸時代の中頃に江戸系統に属する神田流から教わったと伝えられ、神社では宮比流と称しています。毎年、1月・5月・9月のそれぞれ28日に、境内の神楽殿で18演目のうち7～8演目が奉納されています。面の数は、天津神(あまつかみ)の面ほか39面あり、高田運春らの江戸時代の終わり頃から明治時代にかけて活躍した宇都宮の仏師の名前が墨書きされているものが多くあります。



〈二荒山神社の神楽 18 演目〉

岩戸廻りの舞、国定めの舞、猿田彦の舞、二神の舞、八幡の舞、四季の舞、玉取りの舞、岩戸の舞、稻荷の舞、鬼女の舞、三狐の舞、恵比須の舞、大黒の舞、熊襲の舞、随神の舞、お蛇の舞、湯立の舞、山の神の舞



国定めの舞



猿田彦の舞



二神の舞

国定めの舞

この舞は、神楽を始める際に必ず舞う舞で、神官や長老が面を付けずに素面で舞います。左手に大きな幣束を持ち、右手には鈴を持ち、鈴を鳴らしながら歩き、神楽殿を清めます。続いて四方を祓います。

■ 舞手…神官又は神楽長老 採物…鈴・大幣束 奏楽…出端・聖天

猿田彦の舞

猿田彦は、天孫の道案内として知られる、神の導きの神です。猿田彦の舞は、天と地の道を創っていく道開けの舞です。手に持つ鉾で天地四方を切り開き、大地を鎮め、これより登場する神々の先導役を務めます。

■ 舞手…猿田彦 奏楽…乱拍子

二神の舞

天津神(アマツカミ)と国津神(クニツカミ)の二神が、お互いの名を問い、名乗り合います。口上のあと、扇と鈴を手に優雅に舞う二神の姿は、天と地が融合して万物が生まれることを象徴しています。

■ 舞手…天津神・国津神 採物…鈴 奏楽…出端・聖天



八幡の舞



岩戸の舞



鬼女の舞



恵比寿の舞



お蛇の舞

八幡の舞

「鈴取り鬼」とも言われる舞で、拾った鈴を振りながら踊る鬼を八幡が退治する勇壮な舞です。異国から第六天の悪魔王が日本に飛んで来て人々を苦しめているので、八幡麻呂が出向いて神通の弓に方便の矢を持って見事退治する物語です。

■ 舞手…赤鬼・八幡 採物…鈴 奏楽…乱拍子・宮神楽・出端・聖天

岩戸の舞

天照大御神の岩戸隠れの神話を神楽化したもので、神楽の中で最も重要とされる演目です。天照大御神は、弟・須佐之男命の度重なる乱暴に困りはて岩戸に隠れてしまいました。困った神々は天照大御神を誘い出すため宴を催します。手力男神（タチカラオノミコト）が天の岩戸を力強く押し開けると中から天照大御神に見立てた鏡が現れ、世界に再び光が戻ります。

■ 舞手…猿田彦・岩戸の二神・鈿女・手刀男神
採物…岩戸・神鏡 奏楽…乱拍子・出端・聖天・宮神楽

鬼女の舞

憎悪にたぎる鬼女と鍾馗（ショウキ）の立ち回りを中心にした舞です。美しい姫と恐ろしい鬼女の面を使い、天神の舞とも呼ばれています。鬼女は姫と鬼の2枚の面を使い分け、青年命と対します。青年命は退散し、鍾馗が現れ鬼女と激しく立ち回り撃退します。

■ 舞手…青年命・鬼女・鍾馗 採物…大幣束・鈴・撞木
奏楽…出端・聖天・乱拍子

恵比須の舞

恵比須神は、恵比須三郎とも称され、商売の尊信あついで、「事代主神」ともいわれています。大国主命の第一の皇子でとても釣りの好きな神様です。道化・ヒョットコと釣りを楽しんでいると、鯛の次に大蛸が釣れます。道化は大蛸と相撲を取ります。この舞は漁民信仰を愉快に表現した舞です。

■ 舞手…恵比須・道化(A、B)・タコ 採物…魚(うなぎと鯛)
奏楽…出端・聖天・ヒョットコ・乱拍子・相撲太鼓・岡崎

お蛇の舞

お蛇の舞です。八岐大蛇の伝説を題材にした舞です。出雲の国の奥山にお蛇が住んでいました。脚摩乳(アシナヅチ)には8人の娘がいましたが、毎年お蛇が降りてきてさらわれてしまいました。いよいよ最後のイナダ姫の番です。須佐之男命は、道化に濃い酒を用意させお蛇に飲ませて退治します。

■ 舞手…イナダ姫・脚摩乳・道化・お蛇・須佐之男命
採物…瓶・大幣束・鈴 奏楽…出端・聖天・乱拍子・ヒョットコ・太鼓・岡崎



■ 二荒山神社の神楽

開催日：1・5・9月の各28日

場 所：二荒山神社

■ 菊水祭

開催日：10月最終土曜日・日曜日

場 所：二荒山神社

■ 堀米の田楽舞

開催日：12月15日・1月15日〈オタリヤ〉

5月15日〈田舞祭〉

場 所：二荒山神社

平成24年度 宇都宮市伝統文化映像記録作成事業

企 画・制 作：宇都宮市伝統文化映像記録作成実行委員会

協 力：宇都宮二荒山神社 堀米の田楽舞保存会

宇都宮二荒山神社の神楽保存会

助 成：平成24年度文化庁文化遺産を活かした

観光振興・地域活性化事業

発 行 日：平成25年3月31日

著 作：宇都宮市教育委員会

連 絡 先：宇都宮市教育委員会文化課

宇都宮市旭1丁目1番5号

TEL. 028-632-2764

FAX. 028-632-2765

